軽井沢町の自然保護対策要綱等改正検討部会 会議録

1. 開催日時 令和6年7月5日（金）
13：30～15：00
2. 開催場所 軽井沢町中央公民館 大講堂
3. 出席者
委員：A委員、B委員、C委員、D委員、E委員、F委員、
G委員、H委員、I委員、J委員、K委員、L委員、
M委員、N委員、O委員、P委員、Q委員、R委員、
S委員、T委員、U委員、V委員、W委員、X委員、
①委員、②委員、③委員、④委員、⑤委員、⑥'委員、
⑦委員、⑧委員、⑨委員
理事者：副町長
事務局：事務局A、事務局B、事務局C
4. 協議事項
 - (1) 自然保護対策要綱等の改正に係る基本事項について
 - (2) 自然保護対策要綱等の改正に向けた進捗状況について
 - (3) 意見交換
5. 傍聴人数 7名
6. 議事内容 以下のとおり

1. 開 会

【事務局A】（●●●●●●●）

お忙しいところご出席いただきありがとうございます。【事務局A】（●●●●●●●）でございます。会議冒頭の進行を務めさせていただきますが、よろしく願いいたします。

定刻となりましたので、只今から、軽井沢町の自然保護対策要綱等改正検討部会を開催いたします。

軽井沢町自然保護審議会条例第8条第6項の規定により、同条例第6条を準用します本部会は、委員40名のうち、出席者32名でございますので、第6条第2項の規定による定数に達しておりますので、会議が成立いたしました。

なお、それぞれの団体から推薦により選出されている方もいらっしゃると思いますので、各団体内で情報展開をしていただくために、委員本人が出席できない場合は、代理による出席で対応させていただきます

たく考えておりますので、あらかじめお含みおきください。

続きまして、事務局より傍聴者及び取材希望者をご報告いたします。

【事務局 B】（●●●●●●●●●●）

【事務局 B】（●●●●●●●●●●）でございます。よろしくお願
いいたします。

傍聴希望者及び取材希望者の取扱いにつきましては、『軽井沢町
審議会等の委員の選任及び会議の公開に関する指針』の第 5 条、『会
議の公開』の規定に基づき、公開とさせていただきますのでご了承承
願います。

なお、この検討部会が属します自然保護審議会と同様に、会議冒
頭に傍聴者の人数報告と、報道関係の社名報告を行うという運用と
させていただきたいと思っておりますので、併せましてご了承願います。

それでは、はじめに、本日の傍聴は 7 名でございます。

続きまして報道関係者ですが、【報道機関 A】（●●●）の方が
取材に来られております。

傍聴者の方をお願いいたします。会議の傍聴・取材にあたりまし
ては、委員各位の理解に基づき公開で行うこととしている趣旨を尊
重し、整然と傍聴いただき、委員各位の自由闊達な議論と議事進行
にご協力をお願いいたします。

携帯電話はマナーモードにするなど音の出ない設定にしていた
だくとともに、会議中はお静かに願います。また、この検討部会
での発言の内容や個別の情報などについて、個人情報が含まれるもの
や継続審議となるものもでございますので、その取り扱いには十分ご
留意願います。もう一点、会議資料につきましては、個人の利用の
範囲内で持ち帰りを可とさせていただきます。ただし、資料は、整
理を行ったもので公開できるものにつきましては、後日ホームペー
ジにて公開をいたしますので、決して資料の SNS 等への掲載等は
行わないようお願いいたします。

【事務局 A】（●●●●●●●●●●）

それでは、続きまして、【副町長】（小池秀一副町長）より、あ
いさつを申し上げます。

2. 副町長あいさつ

【副町長】（小池 秀一 副町長）

皆さん、こんにちは。本日は、お忙しい中、またお暑い中、会場まで足をお運びいただき、自然保護対策要綱等改正検討部会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

当町の重点政策として進めております『自然環境の保全と再生』は、私が所管しておりますので、町長に代わりまして本検討部会に出席させていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

さて、昭和47年の制定以来約50年間にわたり、自然保護対策要綱により軽井沢の伝統と優れた自然が守られてきたと考えております。自然保護対策要綱によって今日の軽井沢が形成されたと言っても言い過ぎではないと思っております。

しかしながら、現在、時代の変化とともに自然保護対策要綱の内容が実情にそぐわなくなっている部分も出てきているのかなと感じておりまして、また、その実効性についても住民の皆様方からさまざまなご意見を頂戴しているところでございます。

こうしたことから、住民の皆様とともに作り上げ、一体となって守っていけるような自然保護対策要綱となるよう、この検討部会で見直しを行っていく必要があると感じております。

本部会では、さまざまなお立場の方にお集まりいただいております。皆様からの多角的なご意見をいただきながら、みんなで守っていけるような自然保護対策要綱となるための有意義な検討部会となりますことをご祈念申し上げまして、簡単ではございますが、冒頭の挨拶とさせていただきます。どうぞよろしく願いいたします。

3. 委員紹介

【事務局A】（●●●●●●●●）

今回、検討部会の初会合となりますので、委員を資料1の名簿順に紹介させていただきます。

自然保護のための土地利用行為の手續等に関する条例では、町内において行われる土地利用行為に関しまして、町、住民、事業者、土地利用行為者の責務を明らかにするとともに、自然環境に影響を及ぼすおそれのある土地利用行為について必要な手續等を定めることにより、自然環境及びそれにより形成される景観を保護し、もって明るく健康的な国際保健休養地としてのまちづくりに寄与す

●)。

【所属⑨】 (●●●●●●●●●●) の【⑨委員】 (●●●●●●●●●●

●)。

以上32名となります。

続きまして、町側のご紹介をさせていただきます。

先程ごあいさつをさせていただきました【副町長】 (小池 秀一 副町長)。

事務局になりますが、【事務局B】 (●●●●●●●●●●)、【事務局C】 (●●●●●●●●●●) になります。以上となりますが、皆様、よろしくお願いいたします。

続きまして、部会長の選任となりますが、部会長が選任されるまでの間、議事進行を【副町長】 (小池 秀一 副町長) をお願いしたいと思います。

4. 部会長の選任

【副町長】 (小池 秀一 副町長)

部会長が選任されるまでの間進行を務めさせていただきます。

それでは議事を進行いたします。

4の部会長の選任について、お願いします。

部会長につきましては、自然保護審議会条例第8条第3項の規定により、委員等が互選するとなっておりますので、部会長の選任をお願いします。自然保護審議会の会長・副会長は、委員の皆様から自薦や他薦を含め、立候補、推薦していただき選任していただきました。同様にさせていただきたいと思いますが、いかがでしょうか。

→「異議なし。」との発言あり。委員一同了承。

【副町長】 (小池 秀一 副町長)

それでは、自薦、他薦を含めまして、立候補、推薦をお願いします。

【L委員】 (●●●●●●●●●●)

自然保護対策要綱や、自然保護のための土地利用行為の手続等に関する条例といったものは、まさに軽井沢町の伝統とすぐれた自然を保持して、明るく健康的な国際保健休養地としてのまちづくりを推進するために、町民はもとより、別荘所有の方々、事業者の方々

を含めまして、軽井沢町として守っていただくための基準、ルールが明文化されたものであると認識しております。

その軽井沢町で守っていただくためのルールを、今の時代にあったものに見直すとした場合、各種法令等とも照らし合わせる必要もあると思います。

そのような中で、事務局の委員紹介では所属団体等も含めて紹介をいただきましたが、【所属団体T】(●●●●●●●)の【V委員】(●●●●●●●●)は、法令等にも詳しく、また、中立な立場での部会運営に適任かと思しますので、【所属団体T】(●●●●●●●)の【V委員】(●●●●●●●●)がよろしいかと思します。

【副町長】(小池 秀一 副町長)

只今、部会長に【V委員】(●●●●●●●●)とのご意見がありました。よろしいでしょうか。

→「異議なし。」との発言あり。委員一同了承。

【副町長】(小池 秀一 副町長)

それでは、【V委員】(●●●●●●●●)に部会長をお願いいたします。

部会長席へお着きいただき、併せてごあいさつの方もお願いいたします。

→部会長指定席に移動。

【部会長】(●●●●●●●●)

改めてまして、よろしく申し上げます。

出身はここと全く違いまして、岡山のですね、対岸が小豆島というすごい田舎です。元々は村でしたが、1階級特進しまして、市になりまして、今でもですね、岡山市のチベットとか言われています。歩いて100メートルぐらいが海です。で、小豆島が見える。若干軽井沢と似ているのは、海の家みたいな別荘が最近増えてきています。裁判官、検事、弁護士になるのに、当時は2年間勉強してたんですが、その時は岡山から連絡船に乗って高松まで出ました。そんなことで、こういう全国区の軽井沢町と違って、すごい田舎でございます。なので、非常にレベルの高い人たちがお住まいだということで緊張しております。私自身の軽井沢との縁ですが、もう少し若い時

に前橋の裁判所の裁判長をしてまして、この辺の事件を少し処理していました。それともう1点は、軽井沢に別荘を持っている友人が何人かしまして、それから、近くに私の同期の弁護士が1人しまして、そういうのが軽井沢との縁です。私が所属する【所属団体T】(●●●●●●)は、約50名所属しています。法律家だけでなく、なるべくいろんな人に来てもらおうということで、医者、薬剤師、建築士などいろんな業種がいます。三大資格である医者、弁護士、公認会計士もいまして、あとは大学の先生方もおられて、それから海外の裁判官とか弁護士、大学の先生もいます。そういうメンバーで研究会をやっています。少子高齢化は日本最大の課題ですよ。少子高齢化における日本のあり方というのは共通テーマでいろいろな研究班があります。で、研究班の一部がまちづくりをしたいというので、軽井沢は全国区の別荘地ですから非常に研究の対象としては良いねと。当然、そこには法律家もいまして、それから総合病院の神経難病センターのセンター長とか。それから、私の友人の最高検察庁の検事をしていた者がいまして、最高検時代に地方の条例の罰則にどこまで罰則を認めていいのかっていう審査をしていました。市町村から最高検の意見を聞くという義務はないらしいんですけども、半分以上の市町村が最高検に罰則がどこまで可能なのか意見を聞きにくるらしいんですが、その時に最高検として意見を申し上げる。最終的には市町村が自分の責任で決めるわけですけど、最高検でダメだって言ったような罰則はなかなか通らないです。何かあったら裁判所で負けますよってということです。それから、メンバーの中には当然地方公務員もいます。地方公務員と言っても、司法試験を受かった人が地方公務員で働いている、そういうメンバーです。建築士もいて、いろんな人がいて面白いです。そのメンバーに言わせると、軽井沢は非常にレベルの高い人がいるので、そういう人の意見を聞いて、研究の糧にしたいねと言って非常に喜んでおります。長くなりましたが、裁判所にいた経験から調整役にはいいのかなということで引き受けたんですが、できるだけ時間は有効に使いたいです。若い頃、在外研究員でジョージタウン大学にいらして、そこでタイムイズマネーということをお教えしてもらいました。今日は、顔合わせと、それから一緒になって皆さん知恵を出して、軽井沢の発展に協力しましょうという会ですから。で、みんなで協力していい町にしたいと思っております。そんなこともあって、できれば今日は15時ぐらいに終わりたいなと思っております。で、次回は事前に準備をして、中身のある議論をしたい。で、結論を出して、

委員】（●●●●●●●●）お願いいたします。

6. 協議事項

(1) 自然保護対策要綱等の改正に係る基本事項について

【部会長】（●●●●●●●●）

それでは、協議事項(1)になります。自然保護対策要綱等の改正に係る基本事項について、事務局よりお願いします。

【事務局C】（●●●●●●●●●●）

右上に資料2と記しているものをご覧ください。今回の自然保護対策要綱等の改正に関する基本事項をまとめたものとなります。

2ページをお願いいたします。こちらが今回の見直しの対象となります。5つの規程でございます。まず1つ目が『軽井沢町の自然保護のための土地利用行為の手續等に関する条例』となります。この条例は、特定の事業を行う際に、あらかじめ町に対しその事業について手續を行うことを定めた条例となります。例えば、開発行為や住宅以外のものを建築する場合にはこの条例に基づき、手續が必要となります。

続きまして、2つ目でございますが、『軽井沢町の自然保護のための土地利用行為の手續等に関する条例施行規則』ということで、先ほど申し上げました条例にぶら下がるものでして、手續の手法などについてさらに詳細に規定したものでございます。

続きまして、3つ目でございますが、『軽井沢町の自然保護対策要綱』となります。町の自然保護対策に関する基準を定めたもので、町独自の建ぺい率、容積率や一区画の面積などについて定めたものでございます。

次に4つ目でございますが、『軽井沢町の自然保護対策要綱取扱要領』で、ただ今申し上げました『自然保護対策要綱』にぶら下がるものでございまして、自然保護対策に関する基準について更に詳細に規定したものでございます。

最後に、『軽井沢町の善良なる風俗を維持するための要綱』でございまして、良き風俗を守り育て、清らかな環境の保健休養地を確保するために、町長、住民等の責務や深夜営業の禁止などについて定めたものでございます。

以上の5つが今回の見直しの対象となるものでございます。

次の3ページをご覧ください。自然環境系の例規などの体系イメ

ージ図でございます。まず、1番上に『軽井沢町民憲章』ということで5つその内容が書かれておりまして、その理念がトップにある中で、ご覧のような体系イメージが作られていると考えております。まず1番左から、『軽井沢国際親善文化観光都市建設法』ということで軽井沢町独自の法律がございまして、それにぶら下がる形で『軽井沢町の自然保護対策要綱』、その下に『軽井沢町の自然保護対策要綱取扱要領』がございまして、また、真ん中の列になりますが、『軽井沢町まちづくり基本条例』がございまして、その下に『軽井沢町の自然保護のための土地利用行為の手續等に関する条例』、そして、その下に『軽井沢町の自然保護のための土地利用行為の手續等に関する条例施行規則』、さらにその下に『軽井沢町の自然保護対策要綱』、『軽井沢町の自然保護対策要綱取扱要領』といった体系になっております。また、1番右の列になりますが、『軽井沢町の善良なる風俗維持に関する条例』がございまして、それにぶら下がる形で『軽井沢町の善良なる風俗を維持するための要綱』がございまして。

以上が体系のイメージ図となっております。

次の4ページをご覧ください。

今回の改正・見直しの理由でございまして、昭和47年に制定した『軽井沢町の自然保護対策要綱』は、現在においても軽井沢の環境保全の根底を成すものでございます。しかし、時代の変化とともに自然保護対策要綱の内容が実情にそぐわなくなっている部分があり、また、その実効性についても疑問符がつけられております。こうしたことから、住民とともに作りあげ、住民と一体となって守っていけるような、時代の変化にも対応した自然保護対策要綱にしていきたいと考えております。

最後になりますが、自然保護対策要綱の改正・見直しに合わせまして、自然環境に関連する規程、先ほどから申し上げております条例などについても、今回、改正・見直しを行っていきたいと考えております。

では、次の5ページをご覧ください。

今後の進め方でございまして、『全体の動き』に絞って説明いたします。

まず、左から右にステージが変わっていくんですが、左から順に、庁内委員会、部会、審議会、改正という流れになっております。庁内委員会と部会の中で、スパイラルに改正案をブラッシュアップしていきたいと考えております。また、そこでまとめられた案を、今

度は部会から審議会に提示をして、意見交換を行い、必要であれば修正を行っていくという流れを考えております。

では、次の6ページをご覧ください。

今回の改正・見直しの基本方針でございますが、今から申し上げます4つの基本方針に基づいて、改正・見直しを行っていききたいというものでございます。

第1として、軽井沢町環境基本計画に基づき、軽井沢の特徴である、豊かな緑に包まれた自然環境を維持していくために、より厳しい基準を設けることについても積極的に検討いたします。

第2として、自然の保護及び保全を前提としたうえで、地域経済の発展にも留意いたします。自然の保護及び保全が、ひいては観光産業を中心とした地域経済の発展につながるという考えのもと、『自然の保護及び保全』と『地域経済の発展』を両立させようというものでございます。

第3として、時代の変化等を踏まえつつ、実情を十分に配慮・考慮した又は実情に適した基準といたします。

第4として、近年の社会的変化に対応する基準についても積極的に定めるというものでございます。

最後になりますが、7ページをご覧ください。

改正・見直しのスケジュールでございます。

まず、フェーズ1として、速やかに改正ができるものは、今年度中に改正の準備を整えまして、来年4月1日に改正規程を施行するというものでございます。次にフェーズ2ですが、フェーズ1で改正ができなかったものや、もう少し議論をしっかりと行った方が良いと思うものは、フェーズ1からフェーズ2まで引き続き検討・議論を重ね、令和7年度までに改正の準備を整えまして、令和8年4月1日に改正規程を施行するというものでございます。

また、下の※に記載のとおり、フェーズ2までに見直しができなかったものは、令和8年度以降も継続して検討・改正を行う予定でございます。

私からの説明は以上となります。

【部会長】（●●●●●●●●●●）

ありがとうございました。最近はですね、このフェーズという言葉が流行っているようでして、裁判所でもフェーズ1とか2とか言っています。IT分野での局面を言うようなんですよね。私なんかはアメリカにいた割に、何かなと思ってびっくりしますけども。余分

なことを申し上げてすみません。何かご質問とかがあれば是非ともご意見を頂戴したい。

【E 委員】（●●●●●●●●●●）

今日、部会の最初ということで、あえて確認したいんですけども、ご説明の中にありました2ページ・3ページの中に出てきます『軽井沢町の善良なる風俗を維持するための要綱』と『軽井沢町の善良なる風俗維持に関する条例』ですが、こちらの部会でこれらの規程も踏み込んで協議をしていくかと思うんですが、こちらの規程を所管する風俗審議会があります。今日ざっと見渡したところ、風俗審議会の委員の方が1名いらっしゃるからいいと思うんですが、そちらの方はそちらの方で、この規程について、これからも審議していくと思うんですが、この部会とどうやって連携していくか、関係を持っていくのか。やっぱり随時情報提供していかなければいけないと思うんですが、こちらの部会と風俗審議会の関係性がどんなふうにしていったらいいかなって思ったんですが、いかがでしょうか。

【事務局B】（●●●●●●●●●●）

委員おっしゃる通り、『軽井沢町の善良なる風俗維持に関する条例』、『軽井沢町の善良なる風俗を維持するための要綱』といったものを所管する審議会は、風俗審議会になります。ただ、『自然保護対策要綱』と『善良なる風俗を維持するための要綱』は、密接に関係するものなので、自然保護審議会又はこの部会でも意見を頂戴しつつ、こちらで出た意見を風俗審議会に情報提供し、風俗審議会としてはどうでしょうという形で、両方のご意見を伺うことにはなると思うんですが、それらの規程は、最終的には風俗審議会の意見の方が尊重されると思っております。

【Q 委員】（●●●●●●●●●●）

このような部会がようやく開催されることになったのは大変意義深いことだと思います。もっと早く開かれていればよかったとは思いますが。資料の4ページに改正の見直しの理由として、時代の変化とともに実情にそぐわなくなった、実効性に疑問符ということが掲げられていますが、これはやや抽象的な表現でありまして、町側としては一体どの程度の認識を持ってこの問題に立ち向かっていこうと考えているのか、簡単で結構ですので、コメントなどいた

できれば有難いと思います。

【事務局 A】（●●●●●●●●）

自然保護対策要綱の大きな改正をしてから、時間も経っている中で、委員の方からもっと早くと言われたんですが、庁舎内の中でも課題を洗い出す時間が必要でしたし、昨年 of 年末から庁内委員会を何回か開催して、課題を洗い出している状況です。まず、庁内での意見を洗い出した中で、委員の皆さんから意見をいただき、最終的な案をまとめていくというのがこの部会になりますので、課題をみんなで洗い出しながら、しっかりと議論を重ねていきたいと思っております。

【部会長】（●●●●●●●●●●）

自由な会ですから、どんどん意見を頂戴したいです。また、意見の出し方については、今後相談したいと思っておりますけども、事前に意見を出して、ここで議論して決めるという単純なことになるかと思っております。

他にご意見のある方は。

【M委員】（●●●●●●●●●●）

資料の4ページについて質問がありましたけど、実効性について私も非常に疑問に思っているところなんですけど、この辺について、町の見解というか、お考え、いかがなものでしょうか。なんでこんなものがこんな風にできちゃうんだっていうことが多々ありまして、要綱の実効性について非常に疑問に思っているんですけど、その辺は町としてどのように認識されているのか伺いたいと思っております。

【事務局 A】（●●●●●●●●）

実効性について、例えば、住宅宿泊事業法によるいわゆる民泊と簡易宿所の境目、そういったもので、法的には通ってしまうんですが、周辺環境を考えるとどうなのかなっていう事例も出てきているのが実情です。要綱は皆様によって半世紀にわたって守られてきたものなんですけど、自然保護対策要綱と法律って考えると、やはり法律の方が上ですので、法には従っているけど、実情はさまざまな問題がありますので、そうした中で自然保護対策要綱を見直して、軽井沢町の自然環境や風俗をなんとか将来にも渡って守っていくにはどうすべきかを皆様と議論していきたいと思っております。

【部会長】（●●●●●●●●）

中身についてのご意見も出たようですが、条例の厳罰化も1つのやり方ですよね。それから、ソフトの面で言えば、住民の実践を尊重してそれを促進しようというのも1つの方法で、若干専門的になりますけれども、手続的な規制をしようというのが、最近出てきますよね。手続をオープンにして、それで住民の監視のもとで進めようという、それが業者に対するプレッシャーにもなるんですよね。いろんな方法について皆さんから知恵を頂戴して、軽井沢に最もふさわしいやり方を選んだらどうかなと思っています。その辺はこれからの議論ですよね。

【M委員】（●●●●●●●●）

今、手続っておっしゃいましたけども、手続そのものがなんていうんですかね、有名無実化している部分もやっぱりあると思うので、そこはきちっとするような覚悟が必要だと思います。

【部会長】（●●●●●●●●）

研究者の端くれですから、若干コメントすれば、日本は法律の面で言うと大陸法の分野に入りますよね。ドイツ法、フランス法です。ただ、戦争に負けてからアメリカ法の影響があって、手続的な規制をしよう、そっちの方がいいんだっていう。手続を重視する方向が強くなってきています。行政の分野でも、そういう方向でいいのかなと思っています。全ての審理を公開して、町民の批判を仰ごうっていうのもいいのかなと。そういう面では、軽井沢の今回の試みというのは日本にとっても非常に先駆的なものになると思います。

【E委員】（●●●●●●●●）

今後の進め方ですが、とりあえずと言いますか、着地点の設定として、ここでは6年度いっぱい設定されています。その後、7年度の最後のところでも3月ということで、一応のゴールになっているんですけれども、この社会の変化っていうのは、ずっとこれからも続いていって、それに対応しなければいけないと、要綱はどんどん変えていかなければいけないと思うんです。今回、現在の実情に合っなくなってきたということがありますが、それは、今後も続いていくだろうと思うんです。で、資料の7ページには7年度で

おしまいというところが設定されているんですけども、やっぱりその後もアップデートだとか見直しは必要だなと思います。もう1つは、この6年度、7年度って2つあるんですけども、これをどうやって分けていったらいいのかなと思うんです。今年度中に、これはすぐ着手しなきゃいけないよねっていう、先ほど民泊新法の話も出ましたけども、そういう緊急性のある協議事項があると思いますが、他方では、いろんな利害関係が絡み合っていて、そう簡単に結論出ないよと、じっくり長く検討しなきゃいけないよねっていうものもあって、しっかりと分けていかなきゃいけないと思うんですよ。で、それを、今年度中にはこれをやりましょうとか、これはもう少し時間かけてやりましょうとか、ふるい分けの作業も必要だと思うんです。早くやらなければいけないことはもちろんあるので、急がなきゃいけないっていうところもすごく感じるんですけども、今日の資料の中に町側から出てきた項目がたくさんあるんですが、これをどういう風に分けていくべきかなって思いました。事務局の方で何かお考えがあれば、伺っておきたいのですが、いかがでしょう。

【事務局A】（●●●●●●●●）

見直しは、今回だけでなく、引き続きで行っていくつもりです。見直して、またそれも検証して、継続してやっていく必要があると思っています。そのために、今回さまざまな団体の皆様にお願ひしたのは、そういった意味も含めまして、変えたから終わりではなくて、変えたら次が始まっていくというような形で、どんどんアップデートしていければと思っています。あと、緊急性がある簡易宿所の問題がある一方、土地利用関係については利害関係もありますし、用途地域の関係も絡んできますので、そういったものは時間がかかると思うんですが、庁舎内ではずっと打合せをやっているんですけども、今日は一旦庁舎内で上がった意見をお示ししています。今後、この意見をベースに庁舎内で協議した上で具体案をお示ししますので、委員の皆様から意見をいただきながら、これでいいんじゃないかとまとまったものから、多分そういうものが緊急性のあるものだと思いますし、そうしたフィルターをかけながら、一緒に皆様と考えながら進めていこうと思っています。

【部会長】（●●●●●●●●●●）

次回から実質的な審議が始まりますから、そこで出てきた問題全

体を概観して、どれを優先するのかを判別していったらいかがでしょうか。全てを一度にやるのが一番いいんでしょうが、それはなかなか難しい。少子高齢化時代を迎えて日本が大きく変わる時ですから、常日頃見直しするしかないと思うんですよね。だから、次回以降に出された問題に応じて対応を考えていかざるを得ないと思います。

【X委員】（●●●●●●●●●●）

この検討部会の対象となる内容について確認をしたいんですが、資料の2ページに見直しの対象を書いているんですが、これに関しては、軽井沢町の自然環境であるとか土地利用をこうしたいという思いがあって、これまで通り要綱や条例で対応していきたいというのが根底にあると思うんですが、その一方で、資料4ページにありますように、実効性について疑問符がつくというのは私も感じております。で、その実効性についてなんですが、要綱ができた当時にはなかった制度であるとか法律であるとか、今はこっちを使えばっていうのもあると思うんですが、それに関してはこの検討部会の対象ではないということによろしいですか。

【事務局A】（●●●●●●●●）

最終的に目指すものは、町民憲章の内容だと思います。その中で、約半世紀にわたって自然保護対策要綱が皆様の中で守られてきて、やっぱりこれがまず崩してはいけないルールだと思います。その中で、制度との関連性を考えながらやっていかなければいけないですし、この自然保護対策要綱をベースに、要綱の実効性を持たせるというか、法的規制にも負けないような形が一番いいと思うんですけども、自然保護対策要綱を補完するものも考えながら、この部会を中心に検討していきたいと思っております。

【Q委員】（●●●●●●●●●●）

例えば、軽井沢町の環境基本計画ですが、この中に自然保護対策要綱と長野県が定めた軽井沢町の景観育成基準ガイドラインの2軸を持って実効性のあるアプローチをすると明確に記載されています。ところが、その長野県の定めた景観育成基準ガイドラインに関しては、今日は詳しくは議論できませんが、その実効性に関して極めて疑問であることが最近の事例で示されてきています。そうし

た現実と組み合わせて実態的な議論をしないと全体がわからないと考えられます。ですので、議論を進める上でどこが具体的に問題になっているのかをお互いに共有させていただくのが非常に大事ではないかと思います。

【部会長】（●●●●●●●●）

他に協議事項(1)について何かございますか。

→ 一同、意見ない旨のリアクションあり。

【部会長】（●●●●●●●●）

特にないようですので、次に進みたいと思います。

(2) 自然保護対策要綱等の改正に向けた進捗状況について

【部会長】（●●●●●●●●）

それでは、協議事項(2)になりますが、自然保護対策要綱等の改正に向けた進捗状況について、事務局よりお願いします。

【事務局C】（●●●●●●●●●●）

右上に資料3と記したA3版の資料をご覧ください。

これは、今回の改正・見直しを行っていくにあたり、関係各課から意見聴取したものでございます。内部資料ですので、分かりにくいところが多々あるかと思いますが、庁舎内では、現在このような意見が出されているということで情報共有させていただきます。

本当に簡単ではありますが、いくつかピックアップして、ご紹介したいと思います。

No. 7ですが、建物に関することでございます。建物の階数制限を規定しているんですが、建築基準法における階数ではなくて、外観上もその階数に見えなければいけないという規定が必要ではないかというような意見が出てきています。例えば、建築基準法では、地上2階、地下1階となりますが、地下の部分が大部分地上に露出しているような建物は、外観上地上3階建てに見えてしまうため、そうした建物についても規制を考えていかなければいけないのではないかというような意見も出ています。また、No. 19ですが、集合住宅が現在多く建築されておりますので、一戸建て住宅に誘導す

るような基準を設けられないかというような意見もあります。また、No.21になりますが、先ほど、【事務局A】（●●●●●●●●）から申し上げた通り、簡易宿所の問題、いろいろありますので、そうしたものに関する対応ということで、管理人の常駐に関する基準を追加したらどうかというような意見も出てきています。また、No.22になりますが、宿泊施設は客室数以上の駐車場を設ける規定が自然対策要綱要綱で定められているんですが、駐車場を設けるために広大な開発、大量の伐採が必要になってしまうというデメリットがあると。そういったところもちゃんと考えた方がいいのではないかと。ただ、闇雲にその規定を緩和すると路上駐車の問題も引き起こされる可能性がありますので、いろいろなことを含めながら良い案を見つけていきたいという意見も出てきています。また、No.26の植栽の関係でございますが、樹林を健全な状態に保つために世代更新が必要であって、その規定について、しっかりと要綱に書き込んだ方がいいのではないかというような意見も出てきております。最後に、No.40ですが、工事自粛期間に関することについても意見が出てきていて、自粛期間の対象エリアを分けたらどうかというような意見も職員から出てきています。

現在、これらの意見をベースに庁舎内で協議していますので、協議内容をまとめた資料を次回の部会に提出させていただきたいと思っております。

私からの説明は、以上となります。

【部会長】（●●●●●●●●●●）

只今、事務局からの説明に対しまして、委員の皆様から何か質問・ご意見等はございますか。

→ 一同、意見ない旨のリアクションあり。

【部会長】（●●●●●●●●●●）

特にないようですので次に進みたいと思っております。

(3) 意見交換

【部会長】（●●●●●●●●●●）

それでは、協議事項(3)になりますが、自然保護対策要綱等の改正について意見交換を行いたいと思っております。

題、分譲ホテルの解釈で、「キッチンがない分譲ホテルは集合別荘に該当しない」という解釈論がありますが、要綱の記載とは異なると思われる点。さらに、ホテルの駐車場の設計の仕方の関連で、旧軽井沢のホテルでギュウギュウ詰めにつくった駐車場で、部屋数の半分作ったとしていますが、それをやることによって、思いっきり建築面積を増やしている。こういうやり方が堂々で行われているんだけどいいのかなとか。それから、大規模開発では、1万平米以上という基準がありますが、軽井沢のマンション敷地は3000平米から5000平米程度までのものが多く、大規模開発には相当しないため、事前の環境アセスメントは適用されません。環境アセスメントなく建設が許可されますが、水の問題等は後で協議するような構造になっているようで、こうした点も協議する必要がないのかなと思われる。No.20では、騒音と夜間照明関連で、エンジンプローアと大型空調機の騒音に加え、夜間のライトアップ、イルミネーションなどが多くのところで問題となっています。長野県の『良好な生活環境の保全に関する条例』ではライトアップとかサーチライトが禁じられていますが、軽井沢町サイドでうまく要綱の中には取り込められてないといった問題が多々あるようです。今日は詳しく申し上げられませんが、景観協定ではそうしたことが、毎日の活動の中で具体的な問題として出てきておりますので、ご報告をさせていただきたいと思いました。

【部会長】（●●●●●●●●●●）

すごく詳細な資料ありがとうございます。勉強になります。こういったテーマが、次回以降議論の対象になると思います。

その時もまたご意見を頂戴できれば助かります。

他には何かございますか。

【M委員】（●●●●●●●●●●）

私も軽井沢とは60年以上関わっておりますけども、最近感じることを申し上げさせていただきたいんですが、多分今の世の中、時代が変わっていますので、規制して守ると言ってもですね、軽井沢全体で同じように規制するっていうのは無理だと思うんです。軽井沢の特徴っていうかポイントは何かって言ったら、やっぱり140年以上の歴史のある別荘地としての軽井沢で、多分これがなくなったら軽井沢の価値はなくなってですね、第二の清里とかどっかのスキー場みたいに、本当に閑散として寄ってこないようなことになりかね

ないと思っております、私が考えているのは、旧軽井沢銀座とか愛宕山地区とか、鹿島の森とか万平エリアとかと南原っていうのは昔から由緒ある別荘地ですので、少なくともそういうところではすね、なんとしても今の環境と景観を維持するというような、そんな施策が必要ではないかなと。やっぱりホテルができたりマンションができてっていうのはこういうところですから、ある程度致し方ないんですが、そういうのはもうちょっとその離れた場所でやっていただくというような、そういう考え方に従ってやるのが必要ではないかなと感じております。以上です。

【部会長】（●●●●●●●●●●）

多様性を重んじるか、統一感があつた方がいいのかって、その辺は多分いろんな意見があると思いますよね。基本的には住民のレベルが高いところですから、自主性を重んじてもいいのかなっていうところもありますけど、そうは言っても一定程度の規制はあるのかな。悩ましいところですよ。皆様のご意見を頂戴して、町と協議しながら、いい町にしていきたいと思います。はい、ありがとうございました。助かりました。

【C委員】（●●●●●●●●●●）

【M委員】（●●●●●●●●●●）がおっしゃった旧軽井沢とか南原の優先っていうのももちろんあるんですけど、最近、旧軽井沢の方は人口が減っています。地価がすごく上がったせいもあって、次世代の人たちは、なかなか親のそばで土地が買えなくて、追分の方に行き、また、東京から来る人たちも、追分の方がやっぱり地価も安くて購入しやすいということで追分に来ます。その結果、追分の環境の変化っていうのもかなり目を見張るものがあります。そうすると、町全体として考えていかないといちごっこになってしまいます。ホテルはやっぱり追分より旧軽井沢に建ってしまいます。それでも、旧軽井沢だけを規制したからといって軽井沢が軽井沢としてもつのかなっていうところは個人的には思っています。また、【Q委員】（●●●●●●●●●●）がお話されたと思うんですけども、提出された資料の問題の所在2のところにある自然保護対策要綱の強制力に関してですが、一生懸命みんなで頑張って、素晴らしい要綱の見直しをしても、一体それがどこまで強制できるのかと考えてしまいます。例えば、開発行為の場合ですと、許可をしているのは佐久建設事務所です。許可にあたって、要綱のことをどのくらい尊

現というのにも考慮する必要がある気がします。

【部会長】（●●●●●●●●●●）

日本の大きな問題は少子高齢化。最近レストランとか定食屋に行くと、配膳のロボットが中心になって、レジはほとんど人間がいません。これからますますそうした状況が進んでいきます。それから、多分町の職員の数も減っていきます。でも、これはもういかんともしがたいですよ。2050年過ぎると、日本人の人口が1億を切って減っていくようです。これをどうするかという問題と、あとは地球温暖化で気温が上がってきて軽井沢が避暑地ではなくなるという可能性もありまして、これも大きな問題ですよ。それから、今私が個人的に興味を持っている事務のAI化。この前、東大発の生成AIベンチャーの会社の社長と会ってきたんですが、5、6年前に数人で始めたベンチャーが今は1億の資本金になっている。こういう時代にもう突入しています。だから、少子高齢化、地球温暖化、それからAI化っていう、これを踏まえてこの軽井沢をどうやっていくのかですよ。それから、【U委員】（●●●●●●●●●●）がおっしゃった通り、海外の問題も出てきます。中国は、ご存じの通り共産党独裁国家ですから、土地は国有なんですよ。だから、国民は土地を持ってない。国から土地を借りて家を建てているだけ。で、その土地の利用権を国民に売って、賄賂とか色々言われてますけども、その影響もあって、軽井沢も多分、外国人がたくさん別荘地を買っていくっていう、これも否定しがたい。もうやむを得ないんですよ。今日、私も軽井沢の駅に降りたら、半分ぐらいが、中国人系、台湾系。そんな感じですよ。そういったことも考えて、どうするか。これが一番大きなテーマですよ。で、あとは強制力をどこまで持たせるか。これは、若干私どもの専門家の議論ですけども、ある程度基礎的な法律的専門知識は共有したいんですよ。指導要綱は、基本的には強制力はありません。平気でそれを破っても罰則はない。だから、住民が立派な人で、ルールを守ってくれるという善意で動いているんですが、実際そうではありません。特に外国人は従うことが少ないと言われますから。そうなるとかなり難しい。刑罰を科すのがいいんだろうか、どうなのかな。それから、刑罰以外に何か強制力を持たす方法がないのかなど。少子高齢化などの大きな問題のもとで軽井沢がどうあるべきか、全体を大事にするのか、個々の住民の意見を大事にするのか、いろんな観点があると思います。私自身は、皆さんのご意見をまとめるだけです。ただ、

この部会は法律家が少ない感じがしますから、アドバイスは申し上げて、どういうルール作りをしたら1番いいのか。この会は非常に大事な会です。軽井沢の根幹に関わる会で、将来を決めるかも分からない会です。どうしても出身母体のことをお考えになるかと思えますけども、できれば出身母体のことは2次的、3次的なものにして、軽井沢はどうあるべきか、そういう知恵を出したいと思うんです。みんなで知恵を絞っていい方法を考えたい。町の職員の方も知恵を出してもらって、それで進めたいと思っております。意見の出し方とか議論の仕方というのは、私個人も考えてみたいと思います。裁判では、事前に自分の意見の骨子を出して、それで準備期間を置いて法廷で議論するというのがルールになっているんですよ。事前に意見を出して、それでみんなで考えてきてもらって、議論してと。で、最大公約数で決めていくっていう。で、決まったことについては、みんな従ってやっていきましょうっていう、もう単純なことです。意見の出し方については、事務局に相談してルールを決めたいと思います。私、個人的に非常にこの会を楽しみにしております。多分、日本の最先端を行くと思います。軽井沢でうまくいくとですね、これが全国に広がるんじゃないかな、そういう意気込みを持っております。自由な研究者とそれから裁判官というのは、みんなからチャホヤされるものですから、あまり修正されないんですよ。そういう面で、ミスも多いと思えますけども、是非とも皆さんにですね、協力いただいて、いい成果を出したいと思えます。次回以降が本番ですから、楽しい会にしたいと思えます。他に協議事項(3)について何かございますか。

→ 一同、意見ない旨のリアクションあり。

【部会長】（●●●●●●●●●●）

他にご意見がないようですから、事務局にお返しします。

【事務局A】（●●●●●●●●●●）

議事進行、大変ありがとうございました。

委員の皆様からも貴重なご意見をいただきました。今回初めての部会ですので、本当は意見を出したかった方もいらっしゃると思いますが、次回にとっておいていただいて、【部会長】（●●●●●●●●●●）から出ました意見の出し方のルール、そういったものも【部会長】（●●●●●●●●●●）と相談しながらやっていきたいと思っ

ております。

とりあえず、今日事務局で示した資料は庁舎内で上がっている意見でございます。【Q委員】（●●●●●●●●●●）のご意見も入っているかと思っておりますので、よろしく申し上げます。いずれにしましても、自然保護対策要綱によって軽井沢が守られてきたのは間違いないと思っておりますし、これからもこれを守っていくべきだと思っております。皆様とともに、自然保護対策要綱を柱とした見直しを一緒にやっていきたいと思っておりますので、今後もよろしくお願ひしたいと思っております。

以上を持ちまして、軽井沢町の自然保護対策要綱等改正検討部会を終了させていただきたいと思っております。本日は、皆様、ありがとうございました。

【事務局B】（●●●●●●●●●●）

事務局から一点、事務連絡をいたします。

今後の検討部会の開催日程につきまして、後日、皆様のご都合をお聞きして調整させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。

また、意見の出し方というのも、どのようにしたら良いのか皆さんにお伺いをさせていただければと思っております。

あと、次回以降、開催日程のご連絡ですとか、会議資料の提供につきましてですが、町の方で、現在DXの推進ということを進めております。また、この部会を環境課が所管している中で、環境的配慮から、極力、電子メール等で行わせていただきたいと思いますと考えております。ただし、そうした環境が整っていない方や、会議資料だけは紙ベースでほしいという方もいらっしゃると思っておりますので、開催日程のご都合を伺わせていただくときに合わせまして、電子メールのみでいいか、あるいは、資料は郵送でも送ってほしいというような、ご希望の確認をさせていただきたいと思っておりますので、よろしくお願ひいたします。以上となります。

7. 閉 会

【事務局A】（●●●●●●●●●●）

改めて、本日の部会、終了させていただきたいと思っております。ありがとうございました。